

材料実験レポート（コンクリート構造物の劣化現象調査）

[学籍番号]	H07001	[氏名]	劣化 太郎
[日時] 2009年8月25日 午後2時頃			
[対象構造物] 道路橋（浜松バイパス）			
<p>[場所、周辺の様子]</p> <p>静岡県浜松市中田島砂丘近くの道路橋。海岸線からは 300m ほど離れている。海岸との間には海松が多く植えられているが、海岸方向からの風がやや強かった。</p>			
<p>[写真]</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <p>写真-1</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>写真-2</p> </div> </div>			
<p>[劣化の様子，原因の考察]</p> <p>写真-1 は橋脚を、写真-2 は橋桁を下側から撮影した様子である。写真-1 では一部のかぶりコンクリートの剥離が確認できるほか、かぶり部分が浮き、その間から錆汁が流れている。写真-2 では、かぶり部分が完全に剥離しており、むき出した鉄筋が錆びていることを確認した。</p> <p>海岸に比較的近く、塩害が原因と考えられる。海岸方向からの風もあることから、日常的に塩分が供給されやすい状況にあるために、この様な甚大な被害が出ていると考えられる。また、橋脚の劣化状況が、海岸側の面が一番深刻であることから、塩害による腐食である可能性が高いと感じた。</p>			
[推測される原因]	塩害による鉄筋腐食		
<p>[感想]</p> <p>劣化の状況は深刻であり、危険であると感じた。補修もしくは架け替えが必要ではないだろうか。また、このような塩害を防止するには、どのような対策を講じるべきなのか、勉強したいと感じた。</p>			